

令和5年度 事務事業評価シート（1）

[令和4年度事務事業]

一般会計				事務事業分類	A 一般事務事業
事務事業名	障害福祉啓発事業			事業番号	011-121
担当部署名	健康福祉	局	障害福祉	部	障害施策推進課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画 2025	施策との関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉～Well-being～	施策	(5) 障害者が生きがいを持って心豊かに暮らせる社会の実現	
		寄与するKPI	有	取組の方向性	③障害者の社会参加の促進			
	堺市SDGs 未来都市計画	施策との関連	有・無	指標名	—			
		寄与するKPI	無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	第4次堺市障害者長期計画、第6期堺市障害福祉計画・第2期堺市障害児福祉計画			
3	事業開始年度	平成 3 年度	点検対象年度	令和 7 年度	
4	実施根拠 (根拠法令、条例等)	障害者基本法			

事業の概要

5	事業の実施主体 (実施主体となる団体等)	本庁			
6	事業の対象 (対象とする人や物、対象数)	市民	対象数	817,441	単位 人
7	事業の目的 (事業実施によりめざす状態)	障害者に対する市民の関心や理解を促進するとともに、障害者の社会参加意識の醸成を図る。			
8	事業内容 (目的を達成するための手段)	<p>1. 大阪ふれあいキャンペーン実行委員会 大阪府・大阪市・堺市を含む府下の市町村及び障害者団体・地域福祉団体で構成する大阪ふれあいキャンペーン実行委員会に事務局として参画し、ポスター等啓発物の作成や配布を行う。また、援助や配慮を必要としている方が周囲の方に知らせるためのヘルプマークについて、周知・啓発活動を行い、必要な市民に対しヘルプマークを配付する。</p> <p>2. 障害者週間関連事業 健康福祉プラザにおいて障害者週間啓発イベント「障害者週間フェスティバル」を開催する。また、SNSやデジタルサイネージ等を活用し、障害理解の啓発を行う。</p> <p>3. 心の輪を広げる障害者理解促進事業 将来を担う若者への啓発・広報活動の一環として、障害や障害者への理解や関心を促進するため、「心の輪を広げる体験作文」及び「障害者週間のポスター」を募集し、作品集の小中学校等への配布や駅構内でポスターを掲示することにより、障害者への理解促進を図る。</p>			
	※スケジュール、実施方法・手段、事業規模・回数など	※国・府の基準より上回って実施した内容を具体的に記載			
9	主な支出先 (委託・補助金・負担金等)	大阪ふれあいキャンペーン実行委員会			
10	公民連携・協働事業				

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標(目的の達成状況を測定)	単位	個	実績		目標	目標
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	点検対象年度 令和7年度
				目標値	1,400	2,050	2,050
				実績値	1,581	1,902	2,050
				達成率	113%	93%	
	当該指標を選定した理由	ヘルプマークの配付数増加は社会の障害理解を促し、障害者の社会参加を促進させるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	目標値は大阪府からの割当数。実績値は障害施策推進課、各区役所地域福祉課及び保健センターにおける配付数合計。					
12	活動指標(成果を上げるための手段)	単位	人	実績		目標	
				令和3年度	令和4年度	令和5年度	
				目標値	30	30	30
				実績値	6	3	
				達成率	20%	10%	
	当該指標を選定した理由	作文とポスターの応募数増加は社会の障害理解を促し、障害者の社会参加を促進させるため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	目標値は前年度実績をもとに設定するが、前年度実績が目標を下回った場合は前年度目標値と同じにする。					

令和5年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	障害福祉啓発事業	事業番号	011-121
-------	----------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。 (単位：千円)

項目	令和2年度	令和3年度	令和4年度		令和5年度	
	決算	決算	当初予算	決算	当初予算	
事業費 (a)	197	160	238	173	180	
13 財源内訳	国支出金		0		0	
	府支出金		0		0	
	市債		0		0	
	その他 ()		0		0	
	受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0
	一般財源	197	160	238	173	180
14 人件費 (b)	820	820	820	820	810	
15 年間経費(c)=(a)+(b)	1,017	980	1,058	993	990	

事業費の内訳

(単位：千円)

項目	年度	事業費	うち一般財源	項目	年度		事業費	うち一般財源
					R4	R5		
16 事業費内訳	その他報償費	R4	12	12		R4	決算	
		R5	0	0		R5	予算	
	普通旅費	R4	0	0		R4	決算	
		R5	3	3		R5	予算	
	印刷製本費	R4	19	19		R4	決算	
		R5	35	35		R5	予算	
	大阪ふれあいキャンペーン負担金	R4	142	142		R4	決算	
		R5	142	142		R5	予算	
		R4				R4	決算	
		R5				R5	予算	

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

区分	単位	令和3年度	令和4年度
		① ヘルプマーク配付数	個
② 上記①にかかる年間経費	千円	820	820
③ 単位当たり経費 (②÷①×1,000円)	円/単位	519	431
備考 (算出についての説明等)		ヘルプマークは大阪府から無償で配布されるものであるため、人件費のみ積算	

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18 令和4年度ヘルプマーク配布数は、令和3年度から2割ほど増加した。これにあたり、費用対効果が向上した。
ヘルプマーク以外の市民への配布物として、障害のある方が外出先で困ったときや緊急時・災害時などに、自分の情報を周囲に伝え、周囲の人に適切な支援を求めるため、本市独自に作成したヘルプカードを市本庁・区役所窓口等で配布しており、こちらも必要とする市民に配付することができた。
なお、心の輪を広げる障害者理解促進事業については、応募者数増を図るため令和4年度新たに放課後児童対策事業実施者に周知を行ったが、応募数はR3年度に比べて半減する結果となった。
令和5年度は、健康福祉プラザにて実施した障害理解促進事業への参加校に対し、本事業の周知を行い、応募者数増につなげたい。

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19 「心の輪を広げる障害者理解促進事業」の実施や、健康福祉プラザにおける「障害者週間フェスティバル」の開催により、市民の障害者理解を深めることができた。
また、障害者週間には障害理解啓発にかかる案内を市役所本庁舎1階のデジタルサイネージに掲示、またSNS等で障害理解啓発を行うなど、普段意識しない方々にも障害理解を深めていただけるような取組を実施した。
上記の市民の障害者理解を深める取組は、障害者の心豊かに暮らせる社会の実現、社会参加促進につながるようになるため、堺市基本計画2025及びSDGs未来都市計画に掲げる取組の方向性に対して寄与している。